

てんぎょう 轉教

2017 2 Feb

平成 29 年 2 月 1 日発行
第 18 卷第 2 号 通算 204 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 靈教佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491
<http://myooji.com>



題 字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

しょうじょうせせ 生々世々の菩薩行 ぼさつぎょう

よめい
余命数日という病床にありながら、

一日一日を感謝しながら大切に生きて
ゆきたいという内容の手記を書きあげ
じやっこうほんぐう
て寂光本宮に帰った信者がいます。

八十を過ぎてから信心に出逢い、今
までの自分の人生は先祖のおかげを顧

みることもなく、両親を弔う回向さえ

も知らずに過ごした、いわゆる仕事一
辺倒の自分本位なものだったと気付か
されます。そんな自分に信心の大切さ
を教えてくださいましたのは、日尚上人で
す。直接お会いしたことはないが、信

水谷 信洋

仰の正しさを追究して人生をかけた日尚上人の生き方に感動しました。もう治る見込みのない病魔がもたらす痛みは意識を失わせるほど厳しいものだが、それでも生きている限り日尚上人に感謝し続けたい、苦しくても生きていられることそのものに感謝したい、というものです。

この信者の目には一体何が見えていたのでしょうか。高齢をもともせず本堂の清掃にはげむ女性信者の姿や、他人^{ひと}を病苦から助けるために夢中になってお題目を唱え続ける応援祈願参加者。信仰のよろこびを全身で表わし菩薩行を実践する大勢の仲

間を見て、自分にのこされた時間はすべてこの妙法弘通のご奉公にささげようと考えて、連合の大役も引き受けました。その希望とよろこびは、ついに病気の苦しみに損なわれることはありませんでした。

これは「生々世々菩薩の道を行じ無辺の衆生を度して永く退転なからん事をおもふものなり」の発願文^{ほつがもん}にあるように、生まれ変わったらまたご奉公させてもらいたいという目標を見据えていたからこそやり遂げられた「唱死^{となえじ}」に違いないのです。

門祖聖人は、日蓮聖人の遺^{のこ}された信心の内容を四十八文字の「御持^{ごじ}

念誦文^{ねんじゆもん}」にまとめて我々に伝えてくださいました。教え通りを固く信じてお題目を唱えた信者は、様々なご利益を頂きます。すると徐々に、まだ信心を知らない人を助けたいという慈悲心が起きて来て、お題目の有難さを弘通するためにお題目を唱えるようになります。そんな信者は、心の中にお題目の御本尊が宿りますから、諸天善神のご守護によって守られます。重い病を受けず、受けただとしても軽くすむご利益がいただけ、生涯現役でお題目を唱え続ける「唱死^{となえじに}」、すなわち寂光参拝することが出来ます。寂光参拝を果たして所

願成就したら、また娑婆世界^{しやばせかい}に生まれ変わって、まだ信心できない人々に妙法を唱えさせるご奉公に励みたい、と願うようになります。この菩薩行⇩寂光⇩菩薩行⇩寂光という、娑婆と寂光の往復を繰り返すのが本当の成仏だと教えられているのです。われわれ信者は、授かっているお題目を心から信じ唱えれば、生老病死という宿命的な苦しみの中に、生きる希望やよろこびを見つけ出すことが出来るのです。

2月のご奉公のすすめ

今月は、高祖日蓮大士ご降誕の月であり、門祖日隆大聖人ご祥月でもあります。両祖のご奉公をお手本に「慈悲廣大」「生々世々の菩薩行」を實踐し、信者家族の応援祈願の共有をすすめるお助行に根気強く励みましよう。

一、随喜轉教について

二月は受験シーズンです。応援祈願は受験者にとつてとても心強く有難いものです。また、新年に立てた祈願は、忘れずに毎月立てなおしては新たな思いでお継りつがしましょう。

・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(水)から7日(火)

・「開講本旨再興祈願」口唱会
26日(日)午前9時半

二、門祖会

今年の春のお会式門祖会は2月19日(日)に奉修されます。奉修費、御供米料は2月6日(月)までに教区でまとめて寺務所にご奉納下さい。「門祖会晴天無事奉修」のご祈願を立て、教区・班内・家族への早目の参詣将引をさせて頂きましょう。

第一座 午前10時
第二座 午前11時半

三、ご降誕会総講

お祖師様のお誕生をお祝いするご降誕会総講を2月12日(日)午前10時半より、高祖大士ご命

2月の寺内行事予定表

1日(水)	朝参詣週間
1日(水)	開講本旨再興祈願総講 午前10時半
4日(土)	運営会議 午前10時半
5日(日)	寒参詣終了
6日(月)	門祖会奉修費奉納締切
11日(土)	連合幹事会 午前9時半
//	後続者育成係連絡会 午前10時半
12日(日)	高祖御降誕会御総講併 修高祖大士御命日総講 午前10時半
12日(日)~18日(日)	門祖会無事奉修祈願朝参詣週間

日総講に併せて奉修いたしません。お祖師様のお陰に感謝して家族揃ってお参詣させて頂きましよう。

四、平成29年度役員申請

来年度の寺内役員及び連合・教区役員を新たに選び、受持講師を通じて事務局総務部に2月末日までに申請して下さい。お役を受けた経験のない方や次世代の方々にもお役を受けて頂ける様に勧めあいましよう。

五、平成28年度 第三回信徒講習会

平成28年度最後の信徒講習会を左記の通り開催いたします。テーマは「御持念誦文」と「百日参詣体操」です。都合をつけて受講しましょう。

2月5日(日)午前9時半

2月12日(日)午後12時半
2月22日(水)午前9時半

六、三島聞泉寺団参

3月19日(日)は三島聞泉寺門祖会の団参です。参詣当番は第2地区です。他の地区の皆さんも応援参詣させて頂きましよう。

七、と佛立本旨講創立記念奉告式 開筵式

4月22日・23日に奉修します。特別御有志を寺務所にて受付けています。ご弘通の拠点となる新本堂を頂いた喜びの式典を、全信徒の協力で精一杯に勤めさせて頂きましよう。

17日(金)	開導聖人御命日総講 午前10時半
//	門祖会準備ご奉公 午前12時半
19日(日)	門祖会 第一座 午前10時 第二座 午前11時半 正副教区長会
25日(土)	午前9時半 開講本旨再興祈願口唱 会 (担当: 第三地区)
26日(日)	午前9時半 若い人の口唱会
28日(火)	午前10時半 平成29年度役員申請書 提出締切
//	春季彼岸総回向御塔 婆・御回向申込締切

新本堂での新年の緒行事

暖かく穏やかな天候に恵まれ

た今年のお正月。一日の元旦会

(本堂)と六角堂初御看経、三

日は初総講・祝杯式と教講初顔
合わせが執り行なわれました。

元旦会での、御導師ご挨拶要
旨は次の通りです。

昨年には新本堂ができるとい

う新鮮さあふれる一年で、しか

も年末には新たに佛立本旨講妙

應寺の宗教法人の認証が頂ける
というそういう目覚ましい成果

が頂けた一年でありました。

去年5月にここに越してきた

わけですから、ここでの元旦会

もちろん初めての事なのです

けど、そういう初めて尽くしの

中で、新鮮にご奉公ができた

ということも、ありがたいこと
でした。

(全文は、ホームページでお読みください)

<http://myooji.com>

平成28年12月の寺内行事報告

1日(7日) 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(木) 開講本旨再興祈願総講

を午前10時半から奉修

3日(土) 運営会議を午前9時半

から開催

4日(日) 蓮華会・くんげ会合同

御講を午前10時半から

奉修

10日(土) 連合幹事会を午前9時

半から開催

// 後続者育成係連絡会を

午前10時半から開催

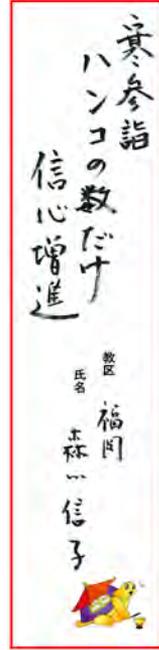
13日(火) 高祖大士御命日総講を

午前10時半から奉修

17日(土) 開導聖人御命日総講を



いただいた沢山の標語に励まされて寒参詣へ！
日曜日には暖かいうどんの御供養もあります



寒参詣が始まりました。
今年も、弘通部募集の標語がロビーにいっぱい張り出されています。
寒参詣は明治36年1月から日歓上人によって始められました。日歓上人は御信者にご奉公目標を立てさせ御看経を務めました。
現代の私たちも、家族や後続者の参詣を祈願して寒参詣に自ら気張りその喜びの心で参詣将引し続けましょう。
(二月五日糠谷信章師のご披露より)

31日(土)	年末御礼参詣(元旦云・初御看経・初総講準備)を午後4時から実施
26日(月)	お炭代・お鏡餅料奉納 締切
25日(日)	25日(日) 31日 年末御礼朝参詣 正副教区長会を午後12時半から開催
25日(日)	門祖聖人御命日総講を午前10時半から奉修
18日(日)	午前10時半から奉修 開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半から奉修(担当・第一地区)
18日(日)	若い人の口唱会を午前10時半から奉修

新年のご披露から



(以下、全文は
ホームページに
掲載します)

新本堂のお披露目「開筵式」(一月三日 根緒泉溪師)

開筵式とは、道場やお寺を新築したり、改修した際の落成式、落慶法要、開堂式を言います。

開筵といういわれは、法座の開かれる場所(席)、つまり仏様の教えが新たに説かれる場所ということです。道場やお寺を建立して、その落慶をお祝いすることを、開筵式と言うようになったものです。

新本堂が昨年の5月に堂々完成されました。そこで4月23日(日)、午前10時から日尚上人のご

祥月法要に併せて、新本堂のお披露目である「開筵式」を挙行します。

是非ともこの、開筵式には家族の方々、そろってお参詣

「開筵式」への御有志を(一月二日 水谷随歎師)

思い返せば平成10年末に渋谷のお寺を出てから今日まで紛争や困難の連続でしたが、18年間も費やしてようやく誰にも邪魔されることの無い本堂が完成しました。白金仮道場、上大崎本

され、開講本旨再興日尚上人への報恩の思いとご信心を、次の世代の方々にも、受け継いで行きましよう。

どうか本年は、この重要な開筵式を契機に、いっそう御信心の改良に心がけて、ご奉公に励ませていただくよう、お願いいたします。

堂、四番町仮道場と幾度も所を変えながら、一貫して開講本旨再興を目指し、日尚上人報恩の思いをエネルギーに変えてこれまで進んでまいりました。

開筵式当日は、本堂で奉修

のち客船を貸り切つての船上パーティを企画しています。

大人五千円、高校生三千円、小・中学生二千円です。奉修本部では、多くの方に参加していただくため大人の参加費も実費の半額以下の設定にしました。

初燈明料と法城護持の御有志を（一月四日神野照報師）

新年の初めにさせて頂く初燈明料の奉納は佛立本旨講弘通発展のために同志寺院との交流また全国の特別教区の発展や親会場の充実、妙証会などもろもろに亘つてご弘通に役立つご奉公です。しかし財のご奉公となりますと、二の足を踏む方も案外と多

皆様にお願いがございます。パーティの会費の半分以上はお寺が出してくれますが支出が大分かさみます。皆様からのご支援をいただきたく、特別ご有志とご協力をお願い致します。

いようです。それでいて財の功德は人一倍戴きたいと願う勝手なところもあるようです。お互い生きてゆくうえでお金が必要であるように、皆様の外護がなければお寺の維持も発展もなく、開講本旨再興のご奉公も行き詰まってしまいます。自分にはご有志せず、お蔭だけは欲

しいという考え方は、三祖聖人の教えを頂く信者といたしました。好ましいものではありません。貧女の一灯の志を家族や班内に伝え、家族一人一人が、また班内一軒残らず、惜しい欲しいの心に打ち勝つて身分相應に精一杯心のこもつたご有志が奉納できますようにご奉公に励まさせていただきますことが大切です。

また4月からの佛立本旨講新法城護持のご有志は、まずは借り受けの返済、維持費や修繕などの経費を支えご弘通発展につながる大事なご奉公ですから、教講ともに志篤く奉納させていただきますでしょう。

平成二十七年 度授 級褒 章



開講記念総講に併修して昨

年度の平成二十七年 度の信徒授級

褒章授与式が開催されました。

今回は、十一人の一級への昇進

者を含め、十級まで百六十名の

信者さんが昇級を

果たされました。

千葉中央教区の

Sさんは、これを

機会に一層のご奉

公をさせていただ

きますと、喜びの

声をあげていまし

た。

なお、お寺参詣、お助行、御

講参詣、講習会出席などの日常

信行が確認出来ない方が大勢い

らっしゃいます。お導師から

も「皆さんの励みになるように

やっておりますので、よろしくお願

御本尊授与式とお給仕の講習

下馬教区

K Sさん (87)

下馬教区で御信心されていた

お姉さんのK Kさん(97)が11月9

日に亡くなられ、教区長のK R

さんに勧められ、ご信心される

ことになりました。しかし、K

Sさんも高齢の為、息子のKH

いします」と訓話がありました。

私たちは。決して授級の為に

ご信心をさせていただいている

わけではありませんが、信心前

を自分で測ることが出来る物差

しでもありません。ちよつとした

手間ですが、参詣の歓びを「参

詣カード」に足跡として残して

ください。

さんが初めてお参詣され代理で

受けられました。

拝受後は御導師より毎日のお

給仕と他人の幸せを願うことが

大切とのお話があり、お給仕の

講習会も受けられました。



平成29年受持御講師一覧

	第二地区				第一地区			地区
杉並	多摩	かながわ	品川	目黒玉川	千葉	都中央	渋谷港	連合
杉並 なかの みたか	町田 さがみ原	かながわ かながわ かながわ 西東	品川 荏原 大井 大森	小山 鷹番 玉川 下馬	富里 千葉 中央	都 中里	渋谷 港	教区
根緒泉溪師	座間随祥師		水谷随歆師	糠谷信章師	神野照報師	根上信浄師	神野照報師	受持御講師

	特別教区				第三地区			
					西部	豊島		
妙証会 妙証会 東武	東北 北陸 方面	福岡	広島	岡山 大阪・鳥取	名古屋 長野 小田原	水戸 栃木 北海道中央	所沢 入間 練馬	板川 豊島 越島
糠谷信章師	座間随祥師	座間随祥師	座間随祥師	根上信浄師	佐藤応昇師	佐藤応昇師	根上信浄師	根上信浄師

「緊急連絡先」の利用・配布方法について

新たに「緊急連絡先」を配布いたします。
サイズは信手帳と同じ、裏面には駒込本堂の地図、住所などが記載されています。
表面には、教区長・班長さんのお名前、住所、電話番号を記入の上、ご信者さんにお配りください。
特に高齢者の班員さんには、お助行で持参して、御宝前の横等、目につき易い場所に置くことをお勧め下さい。



生涯現役

「ありがとうございます。」

○一日一日を楽しく生きる。

○だんだん力が出なくなってきた。

○だから思うように動けなくなっても。

○楽しめるものを、みつけるようにしよう。

○一人で死ぬのは当たり前ですから・・・。

○覚悟を持って楽しむ訳です。

○やっぱり人間って一人です。自分でできることは、自分でしたい。

さがみ原教区 Tさん

日尚上人の御指導によって、お看経の度に言上し、真剣にお願いし、思いが通じ、本当に大きな御利益いただき御礼申し上げます」

これは、生前、主人がノート

■私のごよこび

生々世々の御奉公

さがみ原教区 Aさん

今回、急に肺炎になり入院することになりました。

丁度、十年前（平成十八年）、

に残していた言葉です。

私は今、目を通すも、つらく、しかし、弱気では、御法様に申し訳なく、先ず参詣と、娘に引きずられるように、参詣に頑張っています。

私は一人だけじゃない。

きれいな本堂で、（久し振り）お看経を主人の分まで、清々しい気持ちで、いっぱいです。

肺癌と言われたのですが、その時、自分自身で、何も感じられなかったので、一切の癌治療を

お断りして、御宝前に、おすがりしようと考えていました。

今回、入院してからの三日間は、覚えていないのですが、その間、御導師や御講師、御信者方の一生懸命のお助行やご祈願のお蔭で、うつろだった意識が、はつきりしてきました。

その後、入院中には、一度も苦しいと思うこともなく、再び、家に戻ってこられるという、お計らいを頂きました。

私の様子を見ていた家族も、皆様方のお題目の凄さを実感したと、話しておりました。

お寺でも大勢の方々が、応援祈願をしてくださっていることを聞く度に、心強かったことや

感謝の気持ちで、胸が一杯になりました。

この御恩をいつまでも、忘れ

■私のよろこび

来世かけての御奉公

練馬教区 Hさん

私も九十一歳六ヶ月となり、歩行が大変にて、お寺参詣、御講参詣も出来なくなりました。自宅にて、御法様に朝夕おまじりさせて頂き、感謝の毎日でございます。

お導師のメールの「引き継ぐもの」(平成28年12月1日)を何回も繰り返し拝読して、心に沁みて感じ入りました。

ないようにして、私の出来る精一杯のご奉公をさせて頂こうと思っております。

人生が無駄でなかったこと、そして、これからも、そのまま、引き継がれて行くものであることへの心強さ、安堵感を強く感じ、思わず御法様に合掌いたしました。

自分自身の心の平安を頂いた感動と感謝で一杯でございます。

幼いころから、いつもいっしょに

所沢教区 久米昭子

第三地区豊島連合川越教区の

とアドバイス。

Oさんは、娘家族四人と同居しています。孫娘のMさんは、今年、大学を卒業して就職、妹のRさんは、大学生です。二人は

そのかわり、ご宝前に真剣にご祈願して、おすがりすれば、きつと、成就させて頂けると話したそうです。

小さい頃から、おばあさんと一緒に、お家のご宝前で、毎日お看経を頂いて、困ったときには、ご祈願をお上げて、おすがりしているそうです。

お祖母さんの言うことを素直に聞いて、少し時間がかかったけど、年末にお寺のご宝前に就職成就のお礼言上をしていただくことができました。

Mさんの就活の時も、自分が納得いかないようであれば、焦らずに、ここでならやって行けると思えるところを探さない

Oさんの二人のお孫さんたちのお話を聞いていると、ご信心が自然に生活の中に定着して行き、その環境がお孫さんたちの

ご信心を育てていったのだと思います。

幼いころからいつも一緒に、毎日、ご宝前に向かって、お看経をさせて頂くことが、お祖母さんの信行相続の実践そのものだったのです。



★こどもたちの会★

あとされけい きもち い 「朝参訪って気持ち良い〜！」

<p>⑥ 朝参訪後には、皆さんと一緒に体操して！</p>	<p>① ありがとうございます！朝参詣が続いてる本！</p> <p>ありがとうございます！勤め先がお寺から5分なので…</p>
<p>⑦ 皆さんの病気が早く治ります様に…</p> <p>その気持ちがとても大切なんだよ！</p>	<p>② 続けさせて頂かないと申し訳ないですよ！</p>
<p>⑧ それは本当に良かったネ!!</p> <p>フル参加させて頂くと一日がとても気持ち良いんです!!</p>	<p>③ せっかくだからお寺で一糸にご奉公しようよ!!</p> <p>本当に〜?! ぜひお願いします!</p>
<p>⑨ それは良い利益を頂いたね!!</p> <p>朝もご披露のご奉公があると、二度寝もなくなりまして。</p>	<p>④ それからは毎日朝のご奉公に—</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます!</p>
<p>⑩ 僕たちも頑張らないと!</p> <p>ご奉公や朝参詣が、体のお初穂となっています。</p>	<p>⑤ ありがとうございます。ご披露申し上げます。</p> <p>朝のご披露に—</p>

